

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 芦田中 学校

年 目	中期経営目標 (※中期経営目標もこれ でいくのか、新規の目標を立 てるかを検討する。)	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
5	自らの考えを深め、課題 を解決する力を育成する。	★	継続	課題に主体的に取り組 み、解決策を考える力を 高める。	課題設定の工夫と言 語活動を効果的に仕組 み、解決策を考える力 を高める。	「授業で考えることが 面白い」「授業で友達と 協力してやりとげること が面白い」という生 徒の肯定的評価を8 0%以上にする。								
2	他者への思いやりの心を 育成する。		継続	自己と他者の良いところ を認め、思いやりのあ る生徒を育てる。	思いやりの心を持つ て人と接することができる よう道徳や諸行事 で自己を見つめる機会 を持つ。	「自分是他の人の役に たった」「自分には良いと ころがある」「他者の良い ところに気づいた」という 肯定的評価を80%以上 にする。								
5	たくましく生きるための 健康・体力づくりを推進す る。		継続	進んで体力を向上させ ようとする生徒を育て る。	生徒が主体的に体を 動かすことができるよ う、ペアやグループで 助け合いながら生徒に あった課題を解決でき る授業を行う。	「体育の授業で進ん で体を動かすことが できた」という生徒の肯 定的評価を90%以上 にする。								
3	地域・保護者から信頼さ れる学校運営を推進する。		継続	積極的な情報発信で地 域・保護者から信頼され る学校運営をする。	学校での取組や行事 の計画、生徒の校内お よび地域ボランティア 活動の様子を学校通 信・学年通信・HP等 で月1回以上発信す る。	「通信やHPで学校 や学年の様子、地域ボ ランティア活動の様子 がよくわかる」という 保護者の肯定的評価の 割合を90%以上にす る。								
			新規	教職員の元気が生徒の 学びにつながるような学 校運営をする。	年間計画を基に、早 めに取り組みを始める ようにするとともに、 データを共有してお互 いに活用する。	「授業づくりを行う 時間が確保されてい る」という教職員の肯 定的評価の割合を80% 以上にする。								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。